

平井 尚隆さん（岡山県倉敷市出身）
JICA 草の根技術協力事業
案件名：高齢化対策としての介護予防事業の支援
実施団体：社会福祉法人やすらぎ福祉会
実施国：ベトナム社会主義共和国
2018年5月27日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

高齢化対策 待ったなし

わが日本が世界で最も高齢化の進んでいる国だという事は今では誰もが知っているが、高齢化のスピードが最も速いのはベトナムだという事はあまり知られていない。わが国よりも速いペースで高齢化に突き進んでいるのだ。

しかし平均年齢がまだ20代後半のこの国の国民にとって、高齢化対策といってもぴんときていないのが現実である。現在ベトナムの高齢化率は7%を超えている。経済成長とともに人口も増加、都市部への人口集中で地方との経済格差が拡大している。



ハノイ市で開かれた、行政担当者向けの第1回高齢化対策セミナー

まるで日本の1970年代に数字も状況も似通っている。もちろん当時の日本も現在の超高齢社会になって社会保障費増大のマイナス要因になることを想像する人は少なかった。ただ日本は戦後から高齢者福祉の法的整備や制度を設けて準備を行ってきた。

当然ベトナムにも高齢者がいる。お世話や介護が必要な高齢者には家族や親戚はもちろん隣近所といったコミュニティーが助け合う社会が存在する。過去に日本の社会でもよく見られていた共助互助の精神だ。

私の所属する社会福祉法人やすらぎ福祉会が担う国際協力機構(JICA)草の根技術協力事業のパートナーはベトナム保健省だ。ベトナムの助け合う社会構造を守りながら、高齢化への道がかつてないスピードでたどっている同国に日本の高齢化対策の経験と知識を紹介し、ベトナムに合った形での制度作りの支援をしている。